

私達の作る未来

～ボランティアスタッフとしてグローバルフェスタに参加して～

社会人 田崎 美里

昨年は一般の客としてグローバルフェスタに訪れました。ボランティアではなくグローバルという点に興味があり参加したのですが、今年はボランティアスタッフの一員として参加させていただきました。というのも、沢山のボランティア団体がある中で、“韓国や日本を始めとしたアジアの若者がこの日本という土地で一国の子供達の為に力を併せる”というのはこの日韓アジア基金だけと感じたからです。

隣国でありながらこじれる事の多い日韓。同じアジアでありながら国家単位では十分に歩み寄ることがまだ出来ないアジア諸国。そんな国の若者が力を合わせアジアという地域の未来を憂い活動する。日本は一国であるけれど、アジアの一部でありまた地球の一部に過ぎない。未来は自分達で作る。そんな事を感じさせられた2日間でした。



初日の終わりに。皆さん良い笑顔ですね

今回は日中韓出身の学生を始めとしたメンバー構成で年齢層は様々でした。ボランティア経験の豊富なメンバーも居れば今回が初めてと言うメンバーも居ました。私はどちらかと言うと初めてに近かったので、初日はどんな動きをすればいいのか右往左往していました。しかし各メンバーがそれぞれに良い案を出しすぐに行動に移

してくださったので、自分の出来ることをすれば良いのだと言うことに気がきました。1人で出来ない事はメンバーに提案し助けてもらう。一人一人の力が2倍にも3倍にもなるのを実感致しました。

二日目は台風の影響もあって生憎の天気の中の活動となりました。会場自体に足を運んでくださるお客様も少ない中、少しでも当会の活動に興味を持って頂けるように一人一人に丁寧に話しかける。その心をモットーに宣伝活動を続けました。その甲斐

あつてか立ち止まって耳を傾けてくださる方や募金をしてくださる方もいらっしゃいました。

支援の形は様々です。募金をする。話を聴く。ボランティアとして参加する。どれも正解なんてないと思います。でも、今回ボランティアとして参加した自分に拍手を送りたいと思います。これが私に合った支援の形だと



二日目：土砂降りの雨の中、あきらめずに良く頑張りました。

言うことを発見致しました。当会の活動を元に知ったカンボジアの子供達の現状。未来ある子供たちには教育は不可欠です。そして力を合わせ個々の力を2倍にも3倍にも発揮したボランティアスタッフ。私達の作る未来は明るい。そんな期待を抑える事が出来ない今回のボランティア活動でした。

もっと何か出来る事があるのではないか。もっと必要としている事は無いのか・・・私の支援はこれが始まりです。今後も継続的かつ精力的に活動に参加して参りたいと考えております